

新たな県立高等学校再編計画へ意見

遠野市は 2校の存続を要望！

遠野地区の高校入学者の減少を背景に、県教育委員会は「新たな県立高等学校再編計画案」を昨年12月に示しました。計画案の内容は、遠野高(普通科4学級)と遠野緑峰高(商業系・農業系学科いずれも1学級)について、遠野緑峰高の商業系学科を廃止し、普通科4学級と農業系学科1学級の併置校として、平成32年度に統合。さらに、両校の校舎を利用する「校舎制」を導入するというものです。

計画案を踏まえ、県教育委員会は「今後の県立高校に関する意見交換会」を2月1日に遠野高で、「出前説明会」を2月3日に遠野緑峰高で行いました。説明会などには、PTA会員や地域住民ら約100人が参加。参加者からは「両校にはそれぞれの学習環境が整っているため存続すべき」「未来ある子どもたちの可能性を広げるためには両校は必要だ」などといった、統合反対の意見が多く出されました。

また、本市は『第2次遠野市総合計画』の中に、両校存続の支援策を盛り込んでいることを踏まえ、県教育委員会に対し、両校存続を改めて要望しました。

今後、県教育委員会は、説明会などの意見を踏まえ、さらに検討していくとのことです。



◀出前説明会
両校の存続を県教育委員会に要望する参加者

▶遠野高等学校
「文武両道」の伝統校。大学などへの進学や部活動に力を入れています



◀遠野緑峰高等学校
「農業と商業との融合」を合言葉に、地域産業を担う人材育成に取り組んでいます

2月18日 平成27年度「自衛隊入隊予定者激励会」

国民の平和を守る自衛官に

激励会はとびあ庁舎で行われ、市や自衛隊の関係者から入隊予定者5人に激励の言葉と記念品が贈られました。入隊予定者は、菊池健仁さん(宮守町鱒沢)、小田中真さん(東館町)、鈴木亮太さん(大工町)、佐々木涼雅さん(青笹町)、須藤沙季さん(松崎町)。5人は国民の平和を守る自衛官になることを決意しました。



激励を受けた入隊予定者5人

2月20日 町家で楽しむ女子神楽

女性たちの華やかな舞に魅了

市内の神楽保存会の女性が企画した「町家で楽しむ女子神楽」が、旧三田屋で行われました。市立博物館特別展の「遠野のひな人形展」に併せた初のイベントで、鱒沢・平倉・飯豊神楽の3団体から女性12人が出演。御神楽舞や天女舞など、5演目が披露され、市内外から訪れた200人は、華やかな舞に酔いしれました。



ステージで優美な舞を披露する女性たち

2月22日 火災延焼と二次災害の防止に貢献

迅速な消火対応に感謝状贈呈

2月9日に綾織町で発生した火災で、初期消火活動を行った(株)多田工務店(同町)従業員、小田島至幸さん(31)＝釜石市＝に、市消防本部から感謝状が贈られました。小田島さんは、職場の加工場に向かう途中に火災を発見。すぐさま火元に水をかけるなど、迅速的確な消火活動を行い、火災延焼と二次災害を防ぎました。

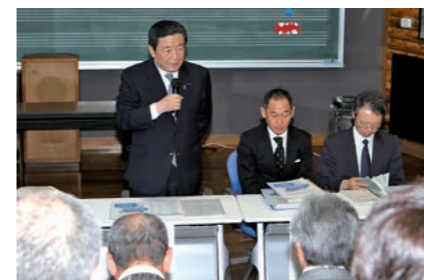


消火活動にあたった小田島さん(中央)

1月30日 農政新時代ミニキャラバン

森山農相が市民と意見交換

森山裕農林水産大臣が東日本大震災からの復興状況や農業の先進的取り組みを視察しようと、本市を訪れました。遠野みらい創りカレッジを会場に、森山大臣は農業者や農業団体職員ら30人とTPPなどについて意見を交換。農業経営の未来や国の施策について、活発に意見が交わされました。



農業のこれからについて話す森山農相

2月7日 第33回清養園氷上まつり

天然リンクでスケート満喫

氷上まつり(市主催)は、清養園保養センターの天然スケートリンクなどで開かれ、地域住民ら400人は、寒さが厳しい遠野の冬ならではの催しを堪能しました。スピードスケート国体選手の濱田芽生子さんらによる模範滑走、レース、餅まきなどが行われ、会場は寒さを吹き飛ばすほどの熱気に包まれました。



1位目指してスタート！

2月16日 本市と岩銀が地方創生の連携協定を締結

官民連携で地域を元気に

本市と(株)岩手銀行は同日、「地方創生の連携に関する協定」を締結しました。締結内容は▷雇用確保のための商工業振興▷農林畜産業の6次産業化▷観光振興と交流人口の拡大による定住促進一などです。本市の空き家リフォーム事業において、同行はローン利用者への金利負担の低減にも協力します。



握手する岩手銀行の高橋真裕会長と本田市長

1月26日 「遠野方式」の訪問診療が30周年

貴田岡医師が記念講演

貴田岡博史医師(遠野病院前院長)が中心となり、昭和60年から全国に先駆けて始めた訪問診療の30周年を記念し、貴田岡医師があえりあ遠野で講演しました。医療・福祉関係者ら150人が参加。貴田岡医師は「国、県、市といった縦割りを無くし、連携することが地域医療には必要」と思いを語りました。



思いを語る貴田岡医師

2月6日 東北ツーリズム大学遠野キャンパス

遠野に魅せられた若者から学ぶ

本市をはじめとする東北地方の農山村の魅力を全国に発信する同大学の報告会が、たかひろ水光園で開かれました。昨年、本市で民泊などを体験した東洋大学の学生20人が、遠野の農業や文化、観光などの可能性について報告。地域住民らは、学生の発表から地域活性化のヒントを探りました。



遠野の魅力を大学生から学びました

2月9日 「千葉家」を遠野の魅力発信の場へ

保存活用基本構想を市に提言

国指定重要文化財・千葉家住宅の保存活用委員会(河東義之委員長)は、市に保存活用の基本構想案を提言しました。河東委員長は「千葉家が遠野の文化力を高め、遠野の魅力発信の場となるよう活用してもらいたい」と求めました。本田市長は「官民一体となって、千葉家を後世に残していきたい」と決意しました。



本田市長に提言書を提出する河東委員長